

# 郵趣振興協会 活動報告

2019年9月2日～2019年12月5日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

## 郵博 特別切手コレクション展の開催期間を台風接近により順延

2019年10月12日の台風接近に伴い、当協会は、共催の郵政博物館と協議の上、ご出品団体「ヨーロッパ切手展実行委員会(小林彰委員長)」ならびにご出品者全員のご協力の下、設営の前倒しおよび会期の順延を決定しました。

郵博特別切手コレクション展で、このような前例はございませんでしたが、展示されるコレクションの完全なる安全(保全)ならびにご来場者の安全を考えて準備を行い、スカイツリータウン・ソラマチが休館を決定し次第、会期の順延をアナウンスし、台風が去った後に無事二日間の展示を行うことができました。

このような気象状況は来年以降も予想されるため、本年の経験をマニュアル化し、来年以降も大過なく対応できるように取り組んでまいります。

### [随時更新] 第7回ヨーロッパ切手展の開催について

現時点の第7回ヨーロッパ切手展の会期と開催時間帯(10.11金 18:30PM)

10/12(土) 中止

10/13(日) 13:00-17:30(予定)

10/14(月) 10:00-17:30(予定) ・ ・ 会期の一日延長が決定しました

本日、東京スカイツリータウン・ソラマチが予定通り13時に営業開始し、郵政博物館が開館しました。一昨日の金曜日に設営が完了している第7回ヨーロッパ切手展は、時間中ごらんいただけます。明日まで展示しておりますので、貴重な作品を是非ご  
[10.13日 13:00PM]

## 『切手コレクション展示パネル』の改修完了について

前号のニュースレターで報告しましたが、当協会では、設立時より計画していた「切手コレクション展示パネル」のメンテナンス(破損した塩び板や金属部分の交換を含む)を行うため、本年3月に吉田敬代表理事を委員長とする「切手コレクション展示パネル」改修委員会を設置し、改修計画を進めて参りました。

その結果、9月中に部品の交換・取り付けとも完了し、10月5日からの郵博 特別切手コレクション展は、新しいパネルで開催できるようになりました。また、郵政博物館における展示・撤去事務の効率化ならびに格納スペースの極少化を狙い、可動式収納台車(右写真)2台を追加発注いたしました。

一連の活動について、本年3月の当協会理事会で、2019年度予算120万円、2020年度予算30万円を上限に設定し『切手コレクション展示パネル』改修委員会に活動を進めさせてまいりましたが、本年



度予算については、現時点で、77万5987円の使用にとどまっております。今後、追加が必要となる費用も現時点では本年度・来年度合わせて25万円程度の予定です。

予算は、予め多めに確保したのですが、ここまで安価に改修作業を進めることができましたのは、大半の事務・作業について、郵政博物館の担当者のご尽力くださったことに寄るところが大きかったことをご紹介させていただきます。

なお、本改修を通じて、当協会は100フレーム規模の展覧会の開催を可能とする堅牢な「切手コレクション展示パネル」を所有する事になりました。協会の公益性を鑑み、このパネルを今後とも活用してまいりたいと思います。

## 郵博 特別切手コレクション展（2020年度）の開催スケジュールが決定

2019年6月15日から10月15日の間に公募を行い、展示団体の選定手続を進めておりました、2020年度「郵博 特別切手コレクション展」につきまして、共催者（郵政博物館および郵趣振興協会）において開催スケジュールを決定いたしました。

日程	展覧会名称	副題・説明等	出展者
4/17-19	郷土（ふるさと）の郵便の歴史展	全国各地、特定の地域や特定の郵便局に限定して集める“ふるさとの郵便史”	NPO 法人郵趣振興協会
6/6-7	第3回南方占領地のフィラテリー展	太平洋戦争中に日本が東南アジア等の占領地域で発行した珍しい切手を一挙に展示	南方占領地切手研究会
10/10-11	戦後の普通切手の魅力展	昭和20年から令和元年に郵便局で販売された普通切手の珍しいコレクションが集結	戦後の普通切手の魅力展実行委員会
12/12-13	第8回ヨーロッパ切手展	ヨーロッパ切手の本格コレクションが勢揃い	ヨーロッパ切手展実行委員会
2021/2/6-7	第4回いずみ展	わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる	いずみ切手研究会

なお本発表は第一弾となり、「郵博 特別切手コレクション展」の開催に加えて、複数の展覧会の開催を2020年は予定しております。

## stamp club 2019 を監修

当協会は、無料世界切手カタログ・スタンペディア 株式会社が発行する『stamp club 2019』の監修をしました。同書籍は、2019年10月発行で、通巻7号になります。

読んでほしい読者層を中学生・高校生を中心とする青少年・少女とターゲットしているフリーペーパーであるため、既存の切手展での配布よりも、公立・私立図書館への献本と郵政博物館での配布に近年は重点を置いております。

## 競争切手展 スタンペックスジャパン2020の開催を決定

2021年に、10年ぶりに切手発行150周年を記念して世界切手展 PHILANIPPON 2021を開催することを、昨年、日本郵便株式会社が発表しました。

同展に限らず国際切手展に出品して収集仲間と楽しみを広げたいと考えておられる収集家も多いと思われませんが、国内展での高評価にも拘わらず思いがけない結果に落胆された経験をお持ちの方も少なくないと思います。

競争切手展は、(好き嫌いはあれど)欧米人の決定した審査規則に従い、欧米人中心で構成される国際郵趣連盟が公認した審査員のみにより構成される審査員団により審査される審査競技です。したがって、この審査競技に参加するのであれば、思いがけない結果に落胆するような失望を防ぐ意味でも世界切手展基準の作品を準備したいものです。

当協会は、切手コレクション展示パネルの改修完了により、100フレーム規模の展覧会の開催が可能になったことをうけて、提携関係にある郵政博物館と協議を行い、来年3月に同館で、全国切手展(競争展)を開催することを10月17日に発表いたしました。

同展覧会の詳細は以下の通りです。

名称：スタンペックスジャパン2020

会期：2020年3月6日(金)~10日(火)

会場：郵政博物館(東京都墨田区・東京スカイツリータウン内)

規模：100フレーム

主催：(特非)郵趣振興協会/(公財)通信文化協会(郵政博物館)

協賛：スタンペディアプロジェクト

後援：(一社)全日本郵趣連合

カルトールセキュリティプリンティング社

株式会社鳴美

HP：<http://kitte.com/stampex2020>

「スタンペックスジャパン2020」は国際郵趣連盟(FIP)の認可を受けた登録審査員だけが審査を担当し、FIPルールに基づく世界切手展基準で審査する初めての全国規模の切手展です。PHILANIPPON 2021をはじめとする国際競争切手展に出品をお考えの方には、審査員との対話・講評を通して作品のまとめ方などをご理解いただける絶好の機会となりますので、PHILANIPPON 2021等への作品作りにぜひこの機会をご利用ください。

なお、同展覧会の運営につきましては、当協会の活動とは別個に、実行委員会と審査委員会を設けて、それぞれの委員会の中で活動を行う事になりました。実行委員会では、当協会代表理事の行徳 国宏さんが実行委員長に就任するほか、事務全般を取り仕切る事務局長に監事の横山 裕三さんがあたります。また審査委員長は、佐藤 浩一さんにご就任を打診し、お受け頂くことができました。

## 各種事業の進捗について

当協会は「2019年度事業計画書」において、5つの事業を計画しております。

それらは「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」の5つです。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

### エキシビション事業

「切手コレクション展示パネル改修委員会」活動完了

郵博 特別切手コレクション展（2019年度）を、郵政博物館と共催で2回開催。

10/5-6                      ステーションナリー展

10/13-10/14              第7回ヨーロッパ切手展

\*「第7回ヨーロッパ切手展」は、当初の10/12-13の開催期間を順延したものです。

郵博 特別切手コレクション展（2020年度）開催スケジュールを、郵政博物館と決定。

全国切手展（競争展）「スタンプックスジャパン2020」の開催を決定。

同時に、実行委員会を立ち上げる。

### フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。(本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンプメディア株式会社へ委託しています)

### リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

### フィラテリックPR事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（9-11月で13件。対前四半期+30%）

### 次世代育成事業

stamp club 2019 の監修

スタンプクラブ「月刊切手ニュース」への協力

### 総務ほか

理事会を3回開催（9/20,10/28,11/24）

（報告者：代表理事 吉田敬）